

実績ある責任施工体制とすぐれた防水システムが安心をお届けします。

ロンシール工業（株）の製品とロンブルーフ防水事業協同組合の施工体制による万全の施工をお約束します。

「ロンシール工業株式会社」
「ロンブルーフ防水事業協同組合」
連名による協同保証システム。

万全の防水工事
責任施工体制 全国230社

ロンシール工業株式会社
LONSEAL



ロンブルーフ防水事業協同組合
LONPROOF

循環型社会に対応した
環境にやさしい防水資材

シート防水のパイオニア
50年以上の歴史に裏づけられた
信頼の防水工法

ロンシール工業株式会社

防水事業部 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846

防水営業部

東京営業所 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846

札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西12-4-69 あいおいニッセイ同和損保 札幌大通ビル6F... TEL.011-271-0411 FAX.011-271-0422

仙台営業所 〒981-0915 仙台市青葉区通町2-5-28 アクス通町5F501号 TEL.022-301-8788 FAX.022-301-8767

北関東営業所 〒331-0812 さいたま市北区宮原町3-376-1 サンフィール大宮宮原403号 TEL.048-664-1511 FAX.048-664-3431

横浜営業所 〒231-0013 横浜市中区住吉町1-14 第一総業ビル6F TEL.045-662-7370 FAX.045-661-0860

大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-9-27 新大阪メィコービル4F TEL.06-6304-2704 FAX.06-6304-6948

名古屋営業所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-27 EBSビル4F..... TEL.052-950-3200 FAX.052-950-3213

広島営業所 〒732-0827 広島市南区稲荷町2-16 広島稲荷町第一生命ビルディング4F TEL.082-506-2500 FAX.082-506-2514

福岡営業所 〒812-0008 福岡市博多区東光2-6-6 第3フジクラビル2F201号 TEL.092-472-5857 FAX.092-473-6179

首都圏営業所 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846

営業推進グループ 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846

ホームページアドレス <https://www.lonseal.co.jp/>

ロンブルーフ防水事業協同組合

ホームページアドレス <http://www.lonproof.or.jp/>

事務局 〒130-0021 東京都墨田区緑4-15-3 ロンシールビル1F TEL.03-5600-4036 (代) FAX.03-5600-4037



弊社は40年の実績を誇るシート
防水材料の優良メーカーの団体
である当工業会の加盟会社です

合成高分子ルーフィング工業会
<http://www.krkroof.net>

お問い合わせ・お申し込みは

※印刷の都合上、実物と多少異なる場合がございます。予めご了承ください。
※当カタログは、発行時点の仕様・商品情報に基づいて作成しております。
そのため、都合により予告なく仕様変更・廃番・色柄の改訂を行う場合もございます。
※当カタログは、仕様・商品の概略のみ記載しております。詳細につきましては、
各仕様書・要領書をご確認ください。
※当カタログの無断転載・複製を禁じます。

PRINTED WITH SOY INK このカタログは印刷インキに大豆インキを使用しています。
大豆インキはVOC（揮発性有機化合物）の発生が少なく、地球環境の保全に貢献します。

2019年4月版

2019.3.S3.10.G.G

LONSEAL WATER PROOFING SYSTEMS

耐火・断熱・遮音・超軽量

金属下地屋根シート防水システム

SD-S・SD-EZ・SD-F仕様

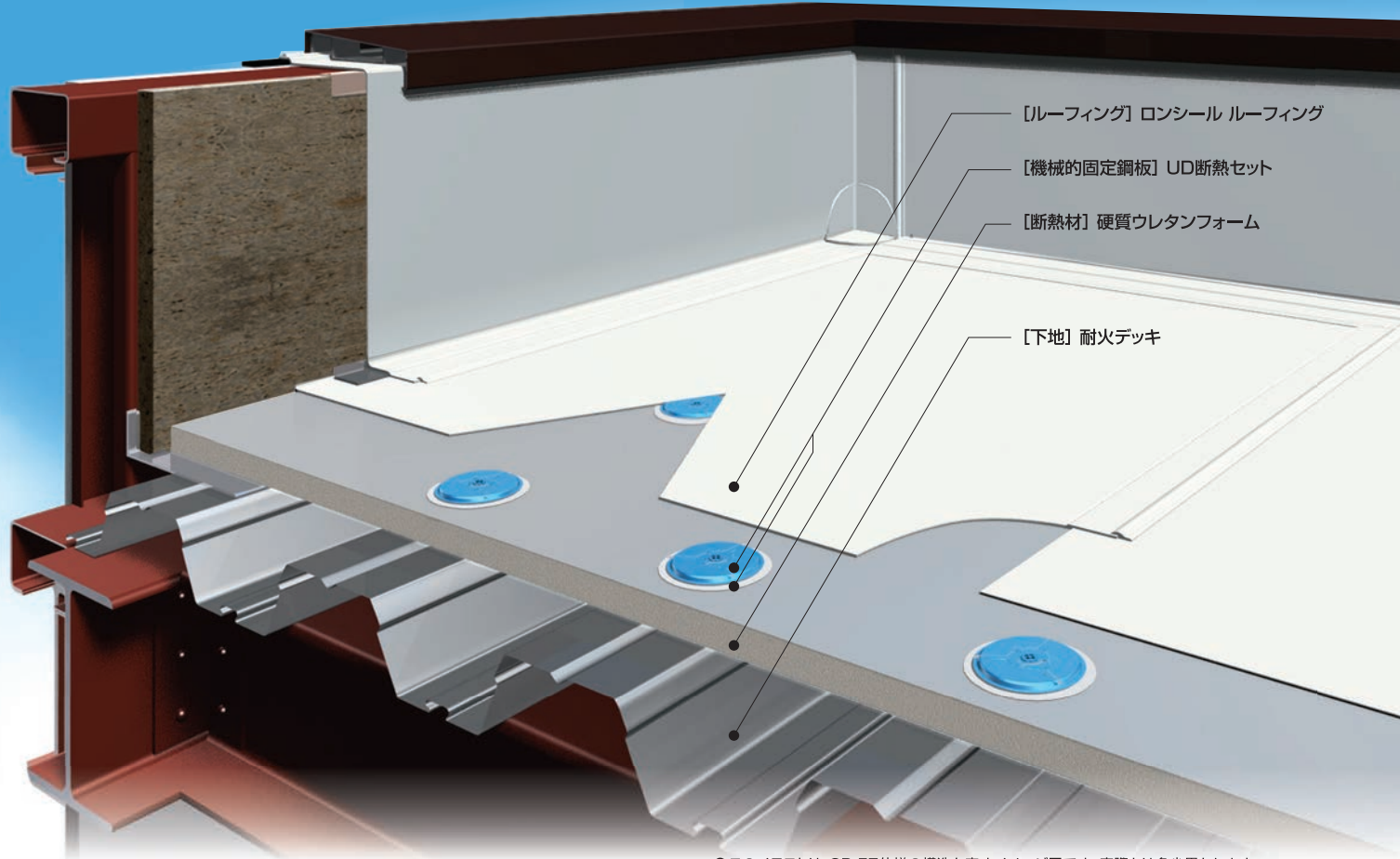
システムガイド

ロンシール

耐火・断熱・防水すべての性能を高次元で実現

SD-S・SD-EZ・SD-F仕様

単体で屋根30分耐火認定済みのデッキプレートを下地とし、断熱材とルーフィングで構成する金属下地屋根シート防水システムです。
耐火性・断熱性・防水性のすべてにすぐれた性能を発揮する上に、屋根全体の大幅な軽量化を実現。工期短縮・施工コスト低減に大きく貢献します。



●このイラストは、SD-EZ仕様の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。

軽量耐火デッキプレートを使用

SD-S・EZ・F仕様の軽さを生む要素の一つが、下地の耐火デッキプレート。単体の軽さはもちろん、支持力の強さにより梁や柱の本数を減らすことができるので、建物全体の軽量化を実現します。

主な耐火認定済みデッキプレート〔SD-S・SD-EZ仕様〕	
QLルーフ (JFE建材株式会社 http://www.jfe-kenzai.co.jp/)	ニッテツルーフ (日鉄建材株式会社 http://www.ns-kenzai.co.jp/)
QLルーフ FP030RF-0064 FP030RF-0326	スーパーEデッキ
FP030RF-0327 FP030RF-0328	EZ75 FP030RF-0053
FP030RF-0413	EZ50 FP030RF-0036 EP030RF-0103
MAデッキ (明治鋼業株式会社 http://www.meiji-kohgyo.co.jp/)	UA-R FP030RF-0161
MA75デッキ FP030RF-0113	HYPER FP030RF-0123
V50デッキ FP030RF-0139	
※耐火認定の詳細につきましては、各デッキプレートメーカーにお問い合わせください。 ※デッキプレートにスーパーEデッキを指定した場合は、仕様名が「SD-EZ仕様」となります。	

主な耐火認定済みデッキプレート〔SD-F仕様〕	
アイデッキ (東邦シートフレーム株式会社 https://www.toho-sf.co.jp/)	
アイルーフ75 FP030RF-1745 FP030RF-1353 FP030RF-0138	
アイルーフ30 FP030RF-0056	

耐火・防火

耐火建築物の
構造条件に適合する
下地を使用

大型ショッピングモール・
体育館・工場・倉庫・
ショールーム
など幅広い用途に対応

SD-S-EZ仕様(山谷タイプ)

SD-F仕様(フラットタイプ)

P.3

屋根30分耐火認定を取得済みのデッキプレートを下地としているため、防火地域から一般地域まで広範囲で施工可能です。

断熱

外断熱で
建物寿命を長期化・
省エネに貢献

断熱仕様の場合

断熱なし

P.4

外断熱で断熱材を敷き込むことで、建物の劣化を防ぐとともに、省エネ、結露防止、遮音の効果を発揮します。

軽量
スピード施工

シンプルな軽量構造で
工期短縮・施工費削減

SD-S仕様
総重量 約17kg/m²

ルーフィング 1.9kg/m²
(ベストフルーフの場合)

断熱材 0.95kg/m²
(アキレスボードWAL-D25mm厚の場合)

下地 14.1kg/m²
(デッキプレートQLルーフの場合)

P.5

機械的固定で防水システムを施工することにより、迅速な施工ができ施工費の削減につながります。

防水

メンブレン防水により
すぐれた水密性を発揮

ルーフィング

液状シール剤

溶着剤

P.6

ルーフィングの相互は、溶剤溶着または熱風融着により接合し一体化するので、強力な水密性を発揮します。

耐風圧

機械的固定工法により
強力な耐風圧性を実現

固定力
①
ルーフィング
と
ディスク板

固定力
②
ビスと
躯体

P.6

建築基準法の定める基準風圧力に対して約3倍の固定耐力を有する、安全性の高い設計です。

耐火・防火

建築基準法の厳しい基準をクリアする耐火・防火性を実現しました。

建築基準法では、万一の火災に対して災害の拡大を防ぐため、耐火・防火性能の技術的基準を規定しています。SD-S・EZ・F仕様は、法律の規定する耐火性能と防火性能に適合し、日本全国幅広い地域の建物に施工できる防水仕様です。

耐火性の2大条件 非損傷性と遮炎性を兼備

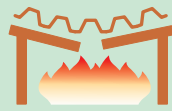
耐火性能とは、通常の火災が終了するまでの間、建築物の倒壊や延焼を防止するために必要な性能のことを表します。その技術的な基準は建築基準法によって定められていますが、屋根については「非損傷性」と「遮炎性」の2点を有することが耐火構造の屋根と認められる条件です。

SD-S・EZ・F仕様は、国土交通省の規定する屋根30分耐火認定を取得した下地を使用し、上記耐火性能の基準を満たしているため、耐火構造の屋根として認められます。断熱材と、自己消火性を有するロンシールのルーフィングの組み合わせが、耐火・防火上の安全性を一層高めます。

耐火性

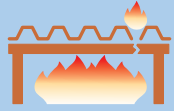
耐火性能は、倒壊、延焼防止を目的に建築基準法で定められた技術的基準です。屋根について、通常の火災に対して非損傷性、遮炎性の2点の性能を有することを「耐火性を有する」構造と認められます。（建築基準法第2条）

非損傷性



通常の火災時の火熱が一定時間加えられた場合に、構造耐力上支障のある変形・溶融・破壊その他の損傷を生じない性能。（建築基準法施行令第107条の第1号）

遮炎性



屋内側からの火災で、屋外に火炎を出す原因となるき裂などの損傷を生じない性能。（建築基準法施行令第107条の第3号）

防火・準防火地域内に 施工可能な防火性を保有

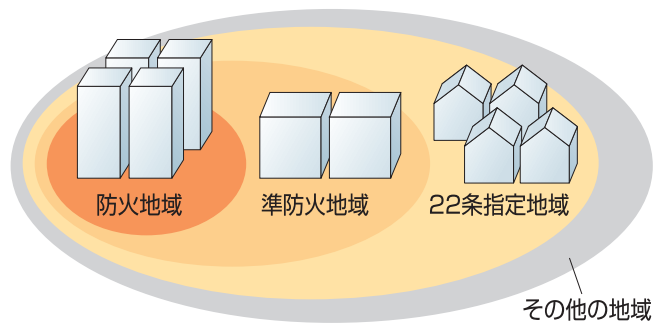
建物が密集する商業地や幹線道路沿いを中心に万一の火災に備え、都市計画法により防火・準防火地域が定められています。また、防火・準防火地域の周辺部を中心に、市町村条例により同様な規制地域が定められています。

これらの地域の建築物は、建築基準法により厳しい制限が設けられており、屋根については「火災発生時の延焼防止のため、火の粉により有害な発炎・溶融・き裂その他の損傷が生じないこと」が、建築基準法63条および22条により規定されています。そのため、建築基準法の例示工法である「屋根一般仕様」、もしくは国土交通省の飛び火試験認定を取得している必要があります。

SD-S・EZ・F仕様は、屋根30分耐火認定を取得しているデッキプレートを下地とし、屋根一般仕様であるロンシール断熱防水システムを組み合わせているので、防火・準防火地域の屋根に使用可能な防水仕様として施工することができます。

また、断熱材が50mm以上必要な場合には、飛び火試験認定を取得しております。〔飛び火試験認定番号 DR-0210〕

防火・準防火・22条地域のイメージ図



屋根一般仕様とは

「建築基準法で規定される鉄筋コンクリート造やれんが造などの耐火構造の屋根に断熱材および防水材を張ったもの」。ただし、以下の条件をすべて満たすことが必要です。

- ・屋外に面する部分を準不燃材料で造ったもので、勾配が水平面から30°以下であること。
- ・断熱材の厚さの合計が50mm以下であること。
- ・塩化ビニル樹脂系の防水工法（ロンシールの防水工法）を用いたもの。

※最表面を不燃材料で覆っている場合は、下地や傾斜に関係なく63条地域および22条地域内の建物に施工できます。

詳細については、平成12年建設省告示第1365号をご確認ください。

断熱

ハイレベルの省エネ効果を生み出すすぐれた断熱性を発揮します。

建物の屋根部分は、太陽熱や外気などにより温度変動が激しい条件に置かれています。SD-S・EZ・F仕様は国内のほとんどの地域の省エネルギー基準に適合する断熱仕様で、建物への負荷を抑え冷暖房費の節約や建物寿命の長期化に貢献します。

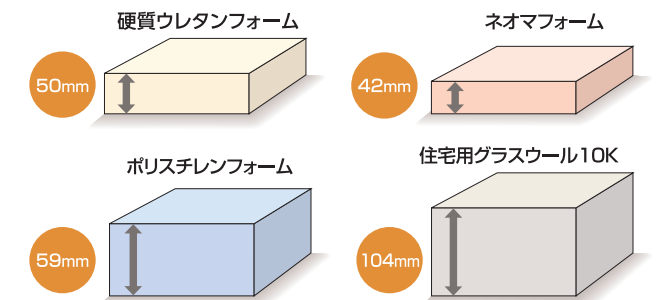
外断熱工法で冷暖房効率を向上、 結露の発生を防止

SD-S・EZ・F仕様は、すべて外断熱工法で施工します。断熱材は、硬質ウレタンフォーム、ポリスチレンフォーム、ネオマフォームが選択できます。

ダブル折板のような鉄骨造の断熱工法と同等以上の断熱性能を発揮するとともに、冷暖房効率の向上や、雨音などを防ぐ遮音性の向上が可能です。さらに、温度変動を小さくするので躯体の保護効果も期待できます。

また、屋根面全体を断熱材で覆うため、内部結露やヒートブリッジによる局部結露を防止することができます。たとえば、室温20℃、外気温-10℃、湿度60%の条件では、計算上露点温度は12.0℃なので結露は発生しないことがわかります。

■図1 熱抵抗値2.08(m²・K/W)の場合における断熱材の厚み比較



※断熱材の厚みが薄い場合には、踏み抜けを生じるおそれがありますのでご注意ください。

■表1 硬質ウレタンフォーム使用時の結露判定結果

断熱材の厚み (mm)	熱貫流率 (W/m²・K)	室内側表面温度 (℃)	判定
なし	6.15	-0.50	結露発生
25	0.83	17.23	結露なし
50	0.44	18.53	

※室温20℃、外気温-10℃、屋内湿度60%

住宅・大規模建築物などの 省エネルギー基準に対応

改正省エネルギー法では、住宅・大規模建築物ともに部位別の評価ではなく、建物全体としての省エネルギー性能を求めるようになり、地域区分もより細分化（8地域）されました。

そのため、従来の基準の様に屋根部分のみでの適合判断はできませんが、さまざまな条件に適応した断熱材種類・厚みを選択可能です。

主な仕様の熱貫流率（U値）は、表2の通りです。

※熱貫流率値（U値）：室内外の温度差が1℃の差があるとき、1m²の屋根等を1時間当たり通過する熱量を表す値。値が低いほど断熱性能が高いことを表します。

■表2 各仕様別の熱貫流率 U値:W/(m²・K)

断熱材	JIS A 9521「建築用断熱材」 による分類	熱伝導率 (W/m・K)	仕様記号	断熱材の厚み(mm)									
				30	35	40	50	60	70	80	90	100	150
硬質ウレタンフォーム	硬質ウレタンフォーム2種2号A	0.024	BP-227D	0.70	0.61	0.54	0.44	—	—	—	—	—	—
ポリスチレンフォーム	押出法ポリスチレンフォーム3種bA	0.028	BP-225D	0.79	0.69	0.61	0.50	0.42	0.37	0.32	0.29	0.26	0.18
ネオマフォームHB	フェノールフォーム1種2号CII	0.020	BP-222D	—	0.52	0.46	0.37	—	0.27	0.24	—	0.19	0.13

※ベストブルーフ（1.5mm）、ラジアルシートL600（1.0mm厚）、下地デッキプレート（1.2mm厚）としての計算値。

※50mmより厚い場合には、ルーフィングをベストブルーフナナン（1.5mm厚）に変更し、飛び火認定（DR-0210）が必要となります。

■図2 省エネルギー基準の地域区分



軽量 スピード施工

防水システム全体の軽量化により、 工期短縮・コスト低減が図れます。

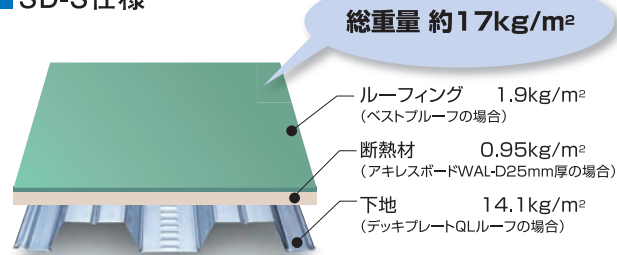
下地、断熱材、ルーフィングすべての構成資材に軽量なものを揃え、防水層全体の軽量化を実現しました。工程数の少ないデッキと機械的固定工法で施工するため工期が短縮でき、ひいては施工コストの低減を図ることができます。

梁・柱の使用量を減らして、 施工コスト低減に貢献

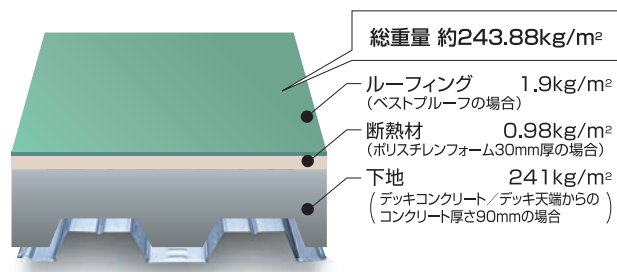
従来の合成スラブを下地とする断熱防水仕様と重量を比較すると、コンクリートの打設が不要なSD-S・EZ・F仕様は、約1/14まで軽量化し、梁や柱の使用量の少ないシンプルな構造を実現しました。

鉄骨造ならではの空間を効率よく使用した設計を可能にするとともに、施工費を低減することができます。また、軽量化により建物への負担を軽減するため、寿命の長期化にも貢献し長期的な維持管理コストの抑制にもつながります。

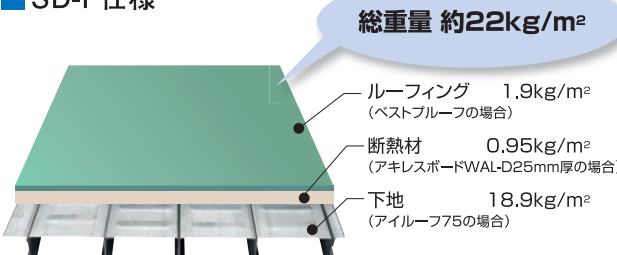
■SD-S仕様



■合成スラブを下地とする断熱防水仕様



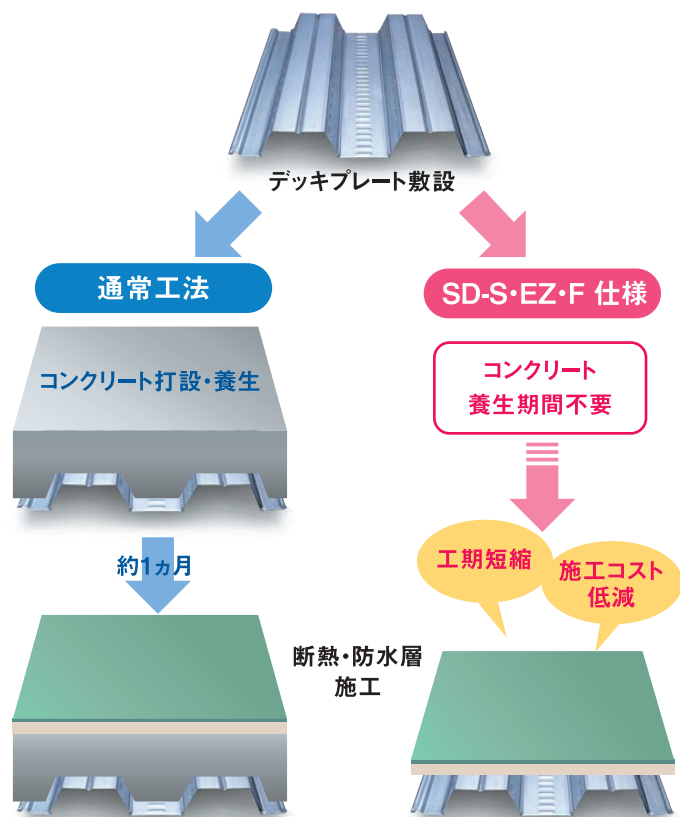
■SD-F仕様



乾式工法により 施工をスピード化

コンクリート下地の養生期間を必要としないことで、工期の短縮を実現しました。断熱材もデッキの上に施工するため、従来の金属屋根の内断熱工法のように梁間隔に影響されることなく、また、ダブル折板のように屋根形状に合わせて断熱材を加工する必要がないため、スムーズな施工ができます。

また、ルーフィングと断熱材を機械的固定工法で施工すること、工期短縮に大きく貢献し、施工コストの低減につながります。



防水

ルーフィング接合面を一体化させ、 高耐久の防水性を発揮します。

ロンシールのシート防水システムは、塩化ビニル樹脂系ルーフィングで屋根を覆い、雨から建物を守ります。紫外線や酸性雨などを浴びても物性の変化が少なく、長期にわたり確実な防水性能を維持する耐久性が特長です。

強力な水密性を持ち、 過酷な気象下でも施工可能

ロンシールのルーフィングは、相互の接合部を溶剤溶着または熱風融着により接合し、すぐれた水密性を発揮します。従来からの金属屋根のように接合部を露出することなく、ルーフィングにより全体を覆い、すぐれた防水性を実現するので、10年間の防水保証を行っています。

また、施工前に下地の乾燥を待つ必要がない機械的固定工法でルーフィングを施工するため、冬季の北海道や東北地方などの緩雪地帯でも施工が可能です。



先付けされたディスク板にルーフィングを確実に固定し、耐久性にすぐれた防水システムを作りあげます。

耐風圧

建築基準法の規定風圧力に対して、 3倍以上の固定耐力を備えています。

ロンシールの機械的固定工法で施工するSD-S・EZ・F仕様は、接着剤を用いず固定鋼板やビス等によりルーフィングを機械的に固定します。台風などの暴風時にかかる強力な上向きの力に対しても十分に耐える固定耐力を持つ安全設計です。

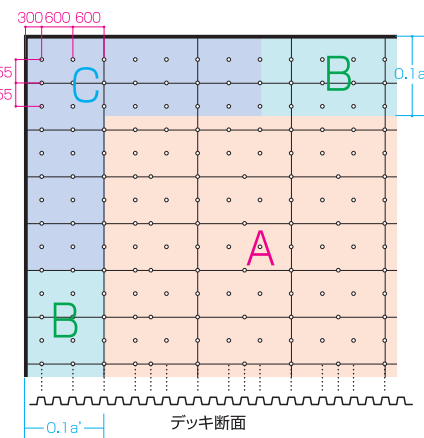
屋根の部位ごとに試験を 実施し、安全性を実証

SD-S・EZ・F仕様は屋根のすべての部位について、建築基準法で定める基準風圧力に対して3倍以上の固定耐力を持つように設計しています。特に金属下地では、金属の厚みで固定耐力を保たせるため安全率を特に高く設定し、「ビスの引き抜き強度」、「ルーフィングとディスク板の固定強度」の試験結果に基づき、安全率設計を行っています。

SD-S・EZ・F仕様の 標準固定ピッチ例

屋根形状15m×20m、
高さ15mの陸屋根
225UD仕様適用の場合

建築基準法で定める基準風圧力は、屋根の各部位ごとに設定されています。ロンシールでは、0.1a'の範囲は格子打ちを原則とし、ビス1本当たりの負担面積を基準として、固定ピッチを決めています。



a': 平面の短辺の長さで高さの2倍の数値のうち、いずれか小さい値 (金属下地の場合で、50を超える場合は、50とする) (単位:m)

■機械的固定強度 計算例 (UD工法・断熱材サイズ910mm×1,800mmの場合)

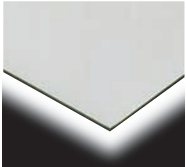
部位	ビス負担面積 (m ² /本)	単位面積あたりのビス本数 (本/m ²)	固定耐力 (N/m ²)	建築基準法で定める風圧力 (N/m ²)	安全率
A	0.341	2.93	5,865	1,285	456%
B	0.273	3.66	7,320	1,645	444%
C	0.273	3.66	7,320	2,210	331%

※建築物高さ15m、屋根勾配10%未満、地表面粗度区分Ⅲ、基準平均風速34m/sec、15m×20mの屋根で想定した際の計算値です。

主要資材

ルーフィングや断熱材は標準仕様のほかにも各種ご用意しておりますので、ご確認の上お選びください。

●ルーフィング(防水シート)



様々な用途に合わせて、最適な性能を引き出すロンシールのルーフィング。
防水性能はもちろん、耐久性、防火性、寸法安定性などにも優れています。

■素材:塩化ビニル樹脂系
JIS A 6008 合成高分子系ルーフィングシート 一般複合タイプ 塩化ビニル樹脂系認証品 : ベストブルーFRS、ベストブルーαを除くルーフィング ●
JIS A 6008 合成高分子系ルーフィングシート 補強複合タイプ(塩化ビニル樹脂系)認証品 : ベストブルーFRS ★

名 称	規格	色数	重量		備考
ベストブルーフシャネツ	1.5mm×1230mm×20m/巻	2色	1.9kg/m ²	47kg/巻	遮熱性能付与品 グリーン購入法適合 ●
ベストブルーフシャネツ立上り用	1.5mm×1830mm×10m/巻	2色	1.9kg/m ²	35kg/巻	遮熱性能付与品 グリーン購入法適合 ●
ニューベストブルーフ	1.5mm×1200mm×10m/巻	5色	2.0kg/m ²	24kg/巻	●
ベストブルーFRS	1.5mm×1200mm×10m/巻	2色	2.0kg/m ²	24kg/巻	★
ベストブルーフ	1.5mm×1230mm×20m/巻	5色	1.9kg/m ²	47kg/巻	●
ベストブルーフ立上り用	1.5mm×1830mm×10m/巻	5色	1.9kg/m ²	35kg/巻	●
ベストブルーフα	1.5mm×1230mm×15m/巻	5色	2.2kg/m ²	41kg/巻	US工法専用・ポリエチレン発泡体積層品
ベストブルーフナンネン	1.5mm×1230mm×20m/巻	2色	1.9kg/m ²	47kg/巻	受注生産品(飛び火認定番号:DR-0210専用) ●
ロンブルーフシャネツ	2.0mm×1200mm×10m/巻	2色	2.6kg/m ²	31kg/巻	遮熱性能付与品 グリーン購入法適合 ●
ロンブルーフエース	2.0mm×1200mm×10m/巻	5色	2.6kg/m ²	31kg/巻	2.5mm厚 受注生産品 ●

●断熱材 **ノンフロン** 熱伝導率は、JIS A 9521:2017に基づく規格値です。

名 称	硬質ウレタンフォーム		ポリスチレンフォーム		ネオマフォームHB
	アキレスボードWAL-D	クランボード	スキン層あり	スキン層なし	
商品写真					
素 材	硬質ウレタンフォーム2種2号A PUF2.2A F☆☆☆☆	硬質ウレタンフォーム2種2号A PUF2.2A F☆☆☆☆	押出法ポリスチレンフォーム3種bA XPS3bA F☆☆☆☆		フェノールフォーム1種2号CII PF1.2CII F☆☆☆☆
熱伝導率	0.024W/m・K	0.024W/m・K	0.028W/m・K		0.020W/m・K
寸法	厚 さ	(25・30)・35・40・45・50mm	(25・30)・35・40・50mm	(25・30)・35・40・45・50mm	35・40・50mm
	幅×長さ	1,000mm×1,800mm	910mm×1,820mm	910mm×910mm	910mm×1,800mm
密 度	(25・30mm)38±3kg/m ³ (35・40mm)36±3kg/m ³ (45・50mm)35±3kg/m ³	33±5kg/m ³ 以上	25kg/m ³ 以上		40kg/m ³
備 考	受注生産品		使用時には、別途絶縁緩衝シートが必要となります。		受注生産品

※厚さについて()内に含まれる寸法のタイプは、踏み抜けを生じるおそれがあります。ロンシールでは、35mm厚以上のタイプを推奨します。

●固定用ビス(セルフドリルビス)

名 称	SDテックビス シカク	ドリルスクリュー FLAT-RS	ニューポイント	NPSDテックビス
商品写真				
規 格	7.0mmφ 25mm(500本/ケース) 50mm(200本/ケース) 60mm・75mm(150本/ケース) 100mm・125mm(100本/ケース)	5.0mmφ 50mm(250本/ケース) 60mm(150本/ケース) 70・100・130mm(100本/ケース)	〈 FS-5019 〉 5.0mmφ 19mm(500本/ケース)	7.0mmφ 125・135・150・185・200mm (100本/ケース)
材 質	特殊SUS	特殊SUS	特殊SUS	特殊SUS
備 考	下地厚1.6mm以下 ※0.8mm・1.0mm時には、別途補強部材 ※スクエア(四角)ビット	下地厚2.3～3.2mm	下地厚2.3～3.2mm 立上り面アングル固定用 受注生産品	下地厚1.2mm ※スクエア(四角)ビット 受注生産品

〈 注意 〉

0.8mm下地の場合は、断熱材の敷設前にディスク固定位置に合わせブチルテープ(t=1.0)+亜鉛鋼板(t=0.8)にて、下地を補強してください。

1.0mm下地の場合も、0.8mm下地と同様に、ブチルテープ(t=2.0)で下地を補強してください。

●絶縁緩衝シート

名 称	ラジアルシートL600	ラジアルシートA
商品写真		
規 格	1.0mm×1200mm×100m	1.0mm×1000mm×100m
素 材	発泡ポリエチレン・ ポリエチレン繊維強化品	発泡ポリエチレン・ アルミニウム箔積層品
備 考		ピンホール検査用 受注生産品

●機械的固定鋼板

名 称	UD断熱セット	BP-H1N
商品写真		
規 格	0.7mm×87mmφ×100枚 1.12mm×100mmφ×100枚	1.6mm×60mmφ×100枚
素 材	塩化ビニル樹脂 被覆ステンレス鋼板 チップボール紙	塩化ビニル樹脂被覆鋼板
備 考	UD工法用 UD-1PVと UD緩衝パッチのセット	US工法用

●機械的固定鋼板

名 称	規格	素材	備考
BP-H2N	1.1mm×54mm×2m×10本	塩ビ 被覆鋼板	フラットバー
BP-H3	1.1mm×50mm×50mm×2m×10本		コーナー
BP-H3N	1.1mm×52.7mm×18.2mm×2m×10本		コーナー
BP-H4	1.1mm×10mm×50mm×2m×10本		水切り下
BP-H5	1.1mm×70mm×57mm×2m×10本		バラベット天端
BP-H6	1.1mm×50mm×50mm×2m×10本		コーナー
BP-7	1.1mm×350mm×350mm×5枚		ドレインパイプ周辺
BP-H8	1.1mm×100mm×35mm×2m×5本		軒先
BP-H9	1.1mm×150mm×65mm×2m×5本		軒先
BP-H15	1.1mm×48mm×15mm×2m×10本		コーナー

※BP-H5・H8・H9は別途ジョイナー(10個/ケース)があります。

●その他

用 途	名 称	規 格	備 考
接着剤	ブルーフセメントNR	3kg/缶・15kg/缶	NBR系 / 立上り接着工法用 / JIS F☆☆☆☆ / JAIA 4VOC 基準適合 / 標準使用量:0.4～0.6kg/m ² (両面塗布) / 火気厳禁
	ロンタックセメント	18kg/缶	アクリル樹脂系エマルション形 / 絶縁緩衝シート仮固定用 / JIS F☆☆☆☆ / JAIA 4VOC 基準適合 / 標準使用量:0.05～0.1kg/m ²
成型役物	ブルーフコーナー(出入隅)	(出隅)2.0mm×50mm×102mm×102mm(50個/ケース) (入隅)2.0mm×50mm×50mm×50mm(50個/ケース)	塩化ビニル樹脂系 / 接着工法用 コーナー補強材
	USコーナー(出入隅)	(出隅)2.0mm×50mm×142mm×142mm(30個/ケース) (入隅)2.0mm×90mm×90mm×90mm(30個/ケース)	塩化ビニル樹脂系 / 機械的固定工法用 コーナー補強材
シール剤	ブルーフシーラー	3kg/缶・全5色 シャネツ・全2色	THF・アノン / ルーフィング端部シール剤 / 火気厳禁
	ブルーフソルベント	3kg/缶	THF / ルーフィングジョイント溶着剤 / 火気厳禁
下地テープ	Pテープ	2.0mm×45mm×25m×4巻	ポリエチレン発泡体 / 機械的固定工法 下地出隅緩衝材
シール材	ロンシーラントL	330ml×10本	ブチルゴム系 / プルーファアングル内部シーリング / JSIA F☆☆☆☆
	ロンシーラントS	320ml×10本 プライマー150ml	変成シリコン系 / パイプ廻り・水切り目地シーリング / JSIA F☆☆☆☆ / 火気厳禁 (プライマー)
	ロンシーラントMB	8.0mm×13m×8巻	ブチルゴムコート塩ビ発泡体 / 機械的固定工法 BP-H5鋼板用
	ロンシーラントTB	2.0mm×50mm×25m×4巻	非加硫ブチルゴム定形シール / 機械的固定工法用
工具	UD BOX Ⅲ (UD工法用 誘導加熱装置)	100V/900W	UD BOX本体、UDガイド、UD圧着治具、電源コード、ケース、取扱説明書(電波法申請書類付き) 電気用品安全法適合品 電波法申請対応品

※上記以外にも資材を使用する場合がございます。詳しくは、仕様書・施工マニュアルをご確認ください。

施工手順

US工法
(後付け工法)

台風が多い地域でも
安心の固定耐力

敷き込んだルーフィングの上から、ディスク板を取り付け、固定する工法です。固定部を補強用シートで増し張りすることで、水密性を保持します。

US工法(後付け工法) 施工の流れ

下地

デッキプレート敷き込み
母屋の上にデッキを敷き込みます。

1

断熱材敷き込み
下地の清掃後、断熱材を敷き込み、仮固定をします。

2

ルーフィング敷き込み
断熱材の上に絶縁シート、ルーフィングを敷き込みます。
(硬質ウレタンフォーム・ネオマフォーム使用時には絶縁緩衝シートは不要)

3

ルーフィング接合
溶剤溶着または熱風融着で接合し、ブルーフシーラーで隙間のないように処理します。

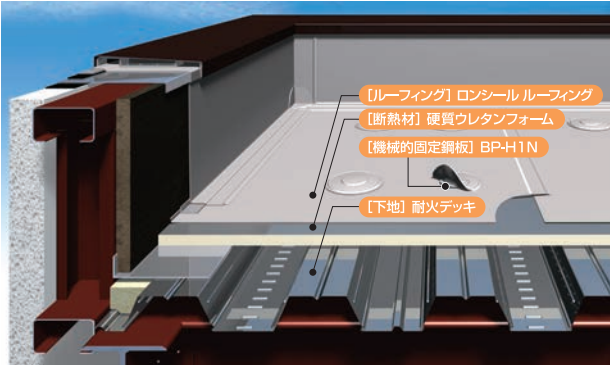
4

機械的固定
固定鋼板でルーフィングを下地に機械的固定します。
(逆ねじ防止のため、ロンシーラントSをあらかじめ打ちます [0.2~0.3g/箇所])

5

端末処理
立上りの端末部に押え金物を固定。アルミ笠木を取り付けます。

固定部の補強
固定部に補強用シートを増し張りし、ブルーフシーラーで補強部を接合します。



●このイラストは、SD-S US(227D US)仕様の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。

UD工法
(先付け工法)

すぐれた施工性と意匠性

下地や断熱材を固定したディスク板の上にルーフィングを敷き込み、「UD BOX」を用いてディスク板とルーフィングを熱融着させる工法です。

UD工法(先付け工法) 施工の流れ(UD BOX I・II 使用の場合)

下地

デッキプレート敷き込み
母屋の上にデッキを敷き込みます。

1

断熱材敷き込み
下地の清掃後、断熱材を敷き込みます。
(ポリスチレンフォームを使用の場合は、絶縁緩衝シートを断熱材の上に敷き込みます)

2

ディスク板固定
UD断熱セットで断熱材を固定します。
(逆ねじ防止のため、ロンシーラントSをあらかじめ打ちます [0.2~0.3g/箇所])

3

ルーフィング敷き込み
断熱材の上にルーフィングを敷き込みます。

4

ルーフィング接合
溶剤溶着または熱融着で接合し、ブルーフシーラーで隙間のないように処理します。

5

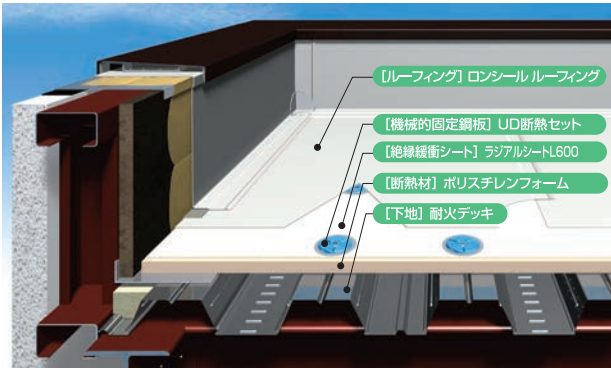
機械的固定
UDガイドを使用して、UD BOXを鋼板の中心に合わせ、UD BOXで鋼板とルーフィングを接合します。

6

ディスクの圧着
加熱後、専用の治具で押え圧着し、接合を強固にします。

7

施工完了
立上り端末部の処理などを行い、最後に点検をして施工完了です。

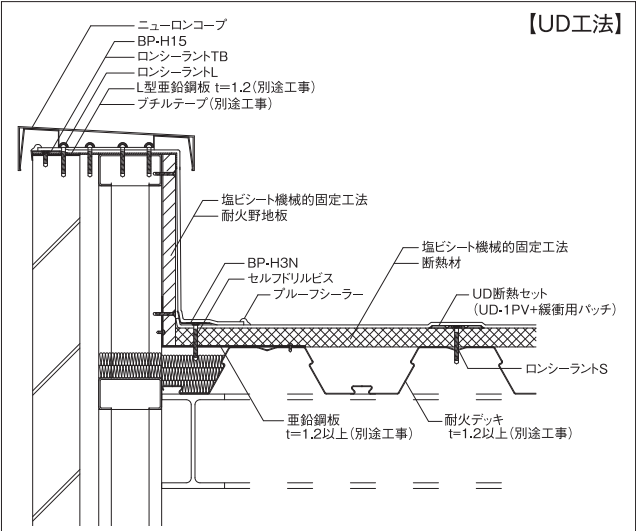


●このイラストは、SD-S UD(225D UD)仕様の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。

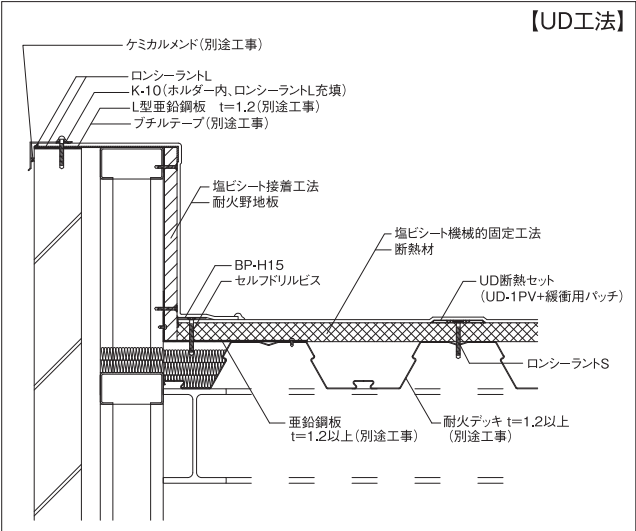
納まり図例 ※詳細は仕様書をご確認ください。 ※デッキ端部などの開口部には、必要に応じ遮炎性能を満たす処置をお願いします。

《SD-S / SD-EZ仕様》

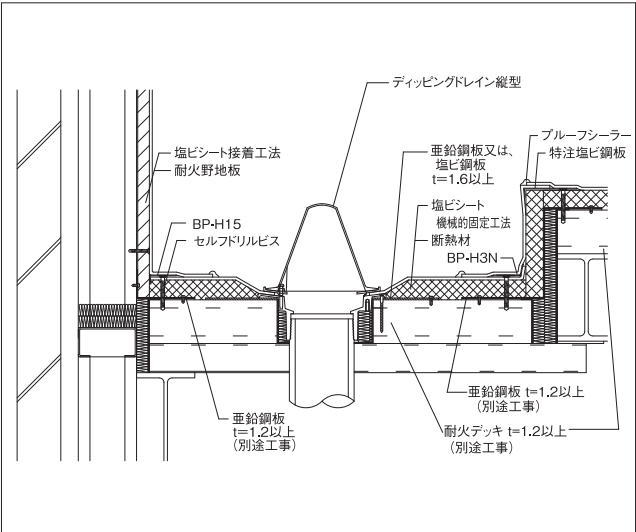
●パラペット部(立上り機械的固定工法) 笠木使用



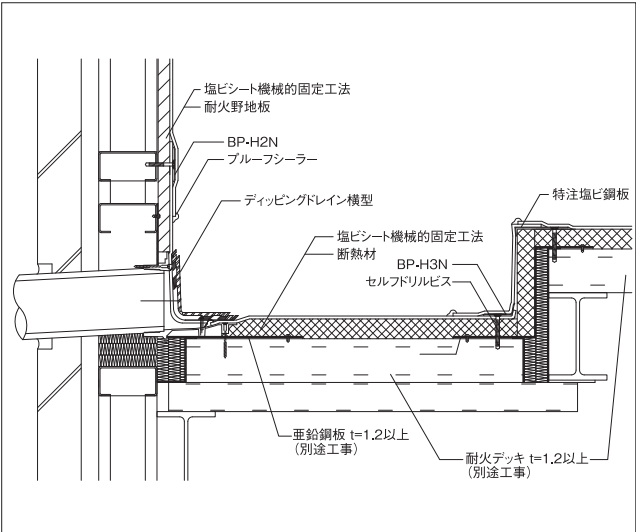
●パラペット部(立上り接着工法) 笠木使用



●パラペット部 側溝(水下)・縦型ドレイン部

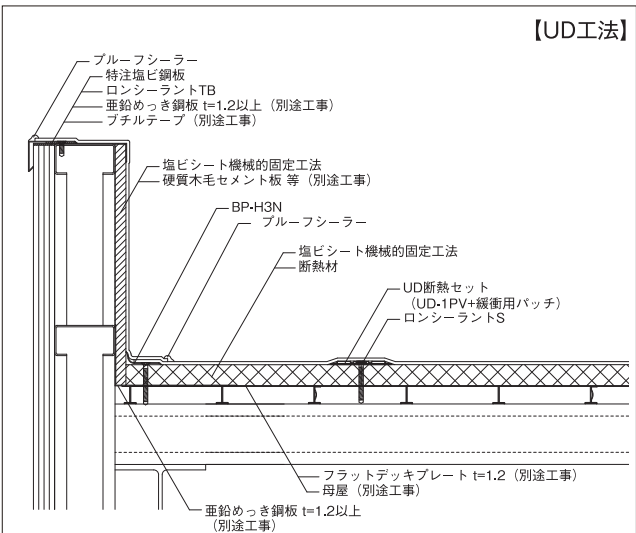


●パラペット部 側溝・横型ドレイン

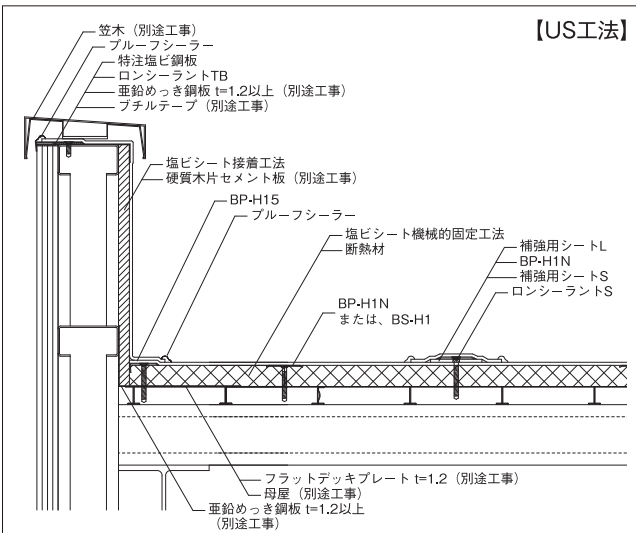


《SD-F仕様》

●パラペット部(立上り機械的固定工法)



●パラペット部(立上り接着工法) 笠木使用



＜共通事項＞ 断熱材にポリスチレンフォームを使用する場合には、絶縁緩衝シートを敷設してください。UD-1PVの下にはUD緩衝用パッチを敷設してください。
セルフドリルビスで固定する際には、ロンシーラントSで逆ねじ防止措置をとってください。
デッキ端部などの開口部には、必要に応じ遮炎性能を満たす処置をお願いします。
降雨、降雪により材料に不具合が生じる恐れがありますので、必要に応じて雨養生を行なってください。